

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
乳癌ドセタキセル・カルボプラチン+Tmab療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	イメンドカプセル125mg 抗がん薬投与の1時間～1時間半前に内服		
day1 初回	① グラニセトロンバッグ1mg+デキサート4.95mg ② <b>ドセタキセル</b> 75mg/m <sup>2</sup> +5%ブドウ糖液250mL ③ <b>カルボプラチン</b> AUC6+5%ブドウ糖液250mL ④ 生食50mL(フラッシュ用) ⑤ <b>ハーセプチン</b> 8mg/kg+生食250mL ⑥ 生食50mL(フラッシュ用)		
day1 2回目以降	① グラニセトロンバッグ1mg+デキサート4.95mg ② <b>ドセタキセル</b> 75mg/m <sup>2</sup> +5%ブドウ糖液250mL ③ <b>カルボプラチン</b> AUC6+5%ブドウ糖液250mL ④ 生食50mL(フラッシュ用) ⑤ <b>ハーセプチン</b> 6mg/kg+生食250mL 1サイクル目で問題がなければ、2サイクル目以降のハーセプチンは30分で投与可 ⑥ 生食50mL(フラッシュ用)		
コメント	Day2,3にイメンド80mg内服 計6コース実施後、乳癌トラスツズマブ単独3週毎療法を行う。		

プロトコールに関する解説
<p>乳癌ドセタキセル+カルボプラチン+トラスツズマブ療法は、HER2陽性乳癌の術後化学療法における治療法の一つです。ドセタキセル+カルボプラチン+トラスツズマブを3週毎に6回点滴した後、トラスツズマブを単独で3週毎に点滴を継続し、計1年間の治療期間になります。心臓への副作用のリスクがあるアンスラサイクリン系抗癌剤を使用しないため、心疾患がある方の化学療法の実施に挙げられますが、トラスツズマブにも心臓への副作用があるため十分な注意が必要です。副作用が強い場合は、延期や中止、減量を行います。</p>